

第8回伊那市地方創生総合戦略審議会 会議録

開催日	平成28年2月25日(木)		
開催時間	開 会	午後2時	閉 会 午後4時
開催場所	市役所 501・502会議室		
委員出席者	上伊那森林組合 伊那市金融団 伊那商工会議所 伊那市議会 旧伊那市区区長会 高遠町地区区長会 長谷地区区長会 上伊那農業協同組合 伊那青年会議所 地域交通事業者 伊那市教育委員会 中部PTA連合会	伊藤 清 矢島 充博 唐木 和世 伊藤 泰雄 山岸 康弘 矢澤 克明 池上 敏明 矢島 洋子 池上 裕平 板山 準治 松田 泰俊 下島 英喜	
欠席者	長野県経営者協会 上伊那支部 連合長野上伊那地域協議会 伊那市社会福祉協議会 伊那市保育園保護者会連合会 伊那市観光協会 信州大学 伊那市女性人材バンク 公募	高嶋 厚 日比野 誠 小嶋 早苗 小澤 篤 向山 知希 林 靖人 唐澤 桂子 二瓶 裕史	
委員以外の出席者	上伊那地方事務所地域政策課企画振興係 小林 哲浩		
出席した事務局職員	総務部長 原 武志 人口増推進室長 飯島 智 人口増推進係長 伊藤 透 人口増推進係 宮川 可南子		
議 事	(1) 伊那市地方創生総合戦略の改訂案について (2) その他		
配布資料	資料1 伊那市地方創生総合戦略(第2版)の主な改訂内容について 資料2 地方創生加速化交付金申請事業の概要及び総合戦略への反映について 資料3 伊那市地方創生総合戦略【第2版(案)】(抜粋) 参考資料 長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略改定(案)の主な項目について 参考資料2 地域経済分析システム 地域経済循環マップ・農林業マップ 分析結果		

1 開会

事務局： こんにちは。時間になりましたので、只今から、会議を始めます。

副会長： みなさまこんにちは。ただいまより、伊那市地方創生総合戦略審議会を開催します。よろしく願いいたします。

事務局： ありがとうございます。本日の会議は、6名の方から欠席のご連絡がありましたのでご報告いたします。それでは、会長からご挨拶をお願いします。

2 あいさつ

会 長： こんにちは。まだまだ寒い日が続いていますが、これからは、行きつ戻りつしながらも、徐々に暖かくなっていくと思います。これから気温の変化が激しい時期となりますので、体調には十分気をつけていただければと思います。本日、第8回の審議会を開催しましたところ、委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。前回の審議会では、総合戦略策定後の定期的な検証と見直しを行う中で、これまでの進捗状況を確認いただき、第2版の改訂に向けた説明を事務局からいただきました。この中では、上伊那地域戦略会議の検討結果を受けての広域的な取組みに係る改訂、また地方創生加速化交付金申請事業等に伴う改訂等の原案の説明がありました。今回は、正式な改訂案ということで提案をいただく予定です。委員からも、活発なご意見ををお願いします。

事務局： ありがとうございます。それではここからの進行は伊藤会長にお願いいたします。

3 協議事項

(1) 伊那市地方創生総合戦略の改訂案について

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： (事務局説明)

会 長： ありがとうございます。ただいま事務局より説明がありましたが、資料1、2の文言の内容が、資料3の改訂版に反映されており、赤字部分が改訂箇所ということです。上伊那地域戦略会議と地方創生加速化交付金申請事業に係る記載を入れることによって、より内容の充実を図ったということです。ちなみに、22ページについてですが、どの部分に改訂内容が反映されているかよくわからなかったもので、もう一度説明をお願いします。

事務局： 既存の記載で読み取れるものは、そのまま取り入れています。また、今回 KPI の修正を行っており、観桜期間中のバスと観光消費額については、上方修正して提案をさせていただいております。

会 長： わかりました。資料は事前にご覧頂いていると思いますが、委員の皆様からご意見等ありますか。

委 員： KPI が変更・追加されていますが、特に新規のものについて、この数値を出した根拠が分かれば教えてください。

事務局： 新しく追加された KPI については、資料2に記載をしてあります。新規の指標でありますので、現状値のわからないものもありますが、担当課と調整の上、数値を設定しています。新しく追加したものについて、「地域内のペレット消費量」については、今年度伊那市で、50年の森林ビジョンを作成しており、これを参考に設定しています。「市域内の地域内消費量」も同様です。「エコエネルギーツア参加者」については、まだ実施していませんが、

このくらいの参加者を今後確保していきたいと思っています。また、若者人材確保支援事業の「企業説明会参加者のうち、市内企業に正規雇用された者の数」を追加しています。新規の事業で、現状値はありませんが、このような数値を設定しています。また、中央アルプスジオパーク構想の関係ですが、「観光地利用者延べ数」について、伊那西部高原地域の目標値として 53 万人と設定しています。こちらについても現状値の詳細は把握しておりませんが、目標値として設定したものになります。

会 長： 担当課でないとなかなか説明が難しいところかと思います。

委 員： 中央アルプスの観光地利用者延べ数の 53 万人については、非常に多いように感じたのですが、いかがでしょうか。

事務局： 伊那西部高原地域には、現在観光スポットと言われる「みはらしファーム」、「グリーンファーム」、「かんでんパパ」などに多く観光客の方に来ていただいています。それぞれの施設で独自に計算した観光客数の数値を持っています。例えば「グリーンファーム」では 40 万人を超えています。また、「みはらしファーム」は、50 万人を若干下回る程度の観光客が訪れています。さらに、「かんでんパパ」についても、会社で独自にもっている数値では、45 万人くらいいるのではということです。これらのデータを勘案する中で、新しい目標値を設定しました。

委 員： ありがとうございます。

会 長： その他ご意見等ありますか。

委 員： 今回提示された改定案の改訂箇所が多くは、広域連携による取り組みについてであり、そういった市町村の枠を越えた取り組みがとても重要だというのは、その通りだと思います。しかし、そのような取り組みはどのようにして、今後、他市町村と整合性をどのようにとって進めていくのか、取り組みのあり方について教えてください。

事務局： 今回、広域的な取組みということで、新たにお示しさせていただいたものとして、資料 2 の裏面の 2 つの事業があります。1 つ目の「『信州・上伊那』の地域力向上推進事業」については、次年度から、広域連合が主体となって進めていくということですので、上伊那の 8 市町村に長野県が加わる中で、人材を配置しながら進めていきます。上伊那広域連合を中心に、各市町村では担当が配置されますので、それぞれ会議等を開催する中で連携して取り組みを進めていきます。中央アルプスのジオパーク構想についても、構成市町村による会議を設けているので、そこで連携を図りながら事業を進めていきます。

会 長： よろしいでしょうか。その他にありますか。

KPI については、22 ページの「観桜期 期間中のバスの延べ人数」が 192 人となっていますが、そこまで細かな人数を掲載する必要はないのではないのでしょうか。目安としての数値でもいいのではと思うのですが、いかがでしょうか。もう一つ、上伊那地域戦略会議の中で検討され、改訂案にも記載されている「10 年後に地域を担う若者の UIJ ターンの促進」についてですが、先般の新聞記事で、新宿で就職説明会があったということですが、上伊那の地域若者連携協議が主体となって実施したということでしたが、この案を受けてのものでしょうか。県のご担当者にお伺いしてもよろしいでしょうか。

地方事務所：
地域政策課

上伊那地域若者人材確保連携協議会については、今年度も首都圏での就職説明会を実施するなど、既に取組みを進めています。また、来年度は新宿での就職説明会のほかにも、8 月に伊那自動車教習所とタイアップして教習所に通う大学生などを対象にした「就職準備合宿」

の実施も計画しています。

会 長： これについては、取組みが始まっているということですね。積極的に取り組んでいただく必要があると思います。

副会長： 資料2の地方創生加速化交付金申請事業の4つはとてもいい事業だと思います。万が一採択されなかった場合でも、この戦略には載せ続け、取り組んでいただきたいと思います。ですが、予算がつかなかった場合の対応を教えてください。

事務局： 事業内容を審議会で良い事業とお認めいただければ、仮に交付金として採択に至らなかった場合でも、今後5年間で想定した事業でもあり、やり方についても財源的にいろいろあると思いますので、採択結果に関わらず、戦略に掲載し、事業を実施する方向で進めていきたいと思っております。また、先ほど会長からご指摘のあった22ページのKPIの目標値についてですが、おっしゃるとおり目標値に細かな数値は馴染まないと思います。この数値については事務局から説明のありました通り、新規の取り組みであります。全くの新規ということで、どのくらいの数値が良いのかが、掴みづらいところがあり、現在は実績値を入れてあります。改訂にあたっては、もう少し丸めた数値に設定して、最終案をお送りいたします。

会 長： 交付金申請事業については、採択にかかわらず、戦略に載せていくということによろしいでしょうか。数値の設定は、もう少し丸めた数値に修正していくということによろしいでしょうか。その他に何かありますか。

(意見なし)

それでは説明があったとおり、今回の改訂案について第2版として承認するということがよろしいでしょうか。

(異議なし)

(2) その他

会 長： 「(2) その他」について、事務局から何かありましたらお願いいたします。

事務局： 本日お配りした「参考資料2」について説明させていただきます。(事務局説明)

会 長： ありがとうございます。これらのデータを今後の市政に反映していくということかと思えます。委員の皆様から質問等ありますでしょうか。

副会長： 6、7ページなどを見ると、1,741市区町村の中で、何位となっておりますが、人口を基準としたランキングの場合、伊那市は何番目くらいになるのでしょうか。このデータだけだと500位で高いのか、低いのか掴みづらいつ感じます。人口だと何位くらいかわかるところのデータを理解するのにわかりやすいかと思うのですが。

事務局： 確認いたします。

会 長： 市の中で言えば、真ん中くらいですか。

事務局： 全国の市が800くらいあるとすると、その中のおよそ半分位だと思えます。

事務局： 前回の国勢調査に基づいた順位でいうと、377位となっております。

委 員： 参考資料のようなデータの分析は、いいことだと思いますが、実際に興味があるところとして、1人当たりの所得などが、人口や面積などに関係なく数値が出ています。これらのデ

ータをどのように活かしていくかが重要だと思います。数値がなぜ低いのか、上げていくためにはどうしていけばいいのかなどの分析ができれば、細かいところに手を打てることが出来ると思います。データの分析から、今後どうしていくのか、将来的に施策につながっていけば、有意義な資料になると思います。

会 長： その他何かありますか。

(意見等なし)

本日の協議は以上です。進行を事務局にお返しします。

4 その他

事務局： ありがとうございます。「4 その他」ですが、会長、委員の皆様から意見はありますか。事務局からは何かありますか。

事務局： 事務局からお願いです。次回の日程ですが、4月以降に日程の調整を行い、連絡をいたします。もう一つ宣伝ですが、本日配布したティッシュですが、同封のチラシのとおり、本市のプロモーション動画を作成しました。今回の地方創生の一環として実施した事業で、KPIも設定しております。インターネット上で視聴いただくことができますので、ぜひ、ご覧いただければと思います。以上です。

5 閉会

事務局： 本日はご審議いただきありがとうございました。審議の内容については、後日市公式ホームページに掲載します。次回の日程については、今事務局から説明がありましたとおり、PDCAを回して、随時検証を行いながら戦略を進めて参りたいと思っておりますので、必要に応じて審議会の開催を行っていききたいと思います。それでは閉会を副会長からお願いいたします。

副会長： 以上をもちまして、本日の会議を終了します。ありがとうございました。